

草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
2025年 3月号
学校ホームページ版

3月10日(月)より
春休み長期貸出開始

4/9(水)まで借りられます

*入試関連書、コミック新刊は別途

*春休み中は休館

ペリかん社の
「なるには BOOKS」シリーズ
いろんな職業の巻があります!

☆大学の学部や
職業ガイドもおすすめ☆

「なるには BOOKS
大学学部調べ」
シリーズ
*いろんな学部の巻
があります

入試問題集の
春休み長期貸出は
3月17日(月)
からスタート



新しく入った本や
貸出状況もわかる

草津東高校
蔵書検索
サイト

検索サイト URL は配付
版「ペえじ」に掲載。
在籍生徒はタブレット
ホーム画面のショート
カットから入れます。

『ホームレス中学生』

田村裕:著 B779.17

幻冬舎

(幻冬舎よしもと文庫)

<あらすじ>

中学生である田村裕の自宅は、ある日突然黄色のテープを貼られ、押さえ物件となった。父親に家族の解散を宣言され、ホームレス中学生となった裕が、家族とは何かと考え、生きていくお話。

<おすすめポイント>

お笑い芸人の麒麟の田村裕さんが書いたお話です。たくさんの人から支援を受けて必死に生活している主人公を見て、自分の生活についても考えることができました。

『カラフル』

森絵都:著 B913.67

文藝春秋(文春文庫)

<あらすじ>

生前の罪により輪廻のサイクルから外された多くの魂が天使業界の抽選にあたり、再挑戦のチャンスを得た。自殺を図った少年、真の体にホームステイし、自分の罪を思い出さなければならない。そのぼくの罪とは…

<おすすめポイント>

物語自体がとても新鮮で特にガイド役として一緒に下界に降りてくる天使の対応が天界と下界で全く違ったり、その天使が真の家族の裏の顔を主人公に伝えたり、この小説の表現していることが分からなくても物語として楽しめます。

本derful!委員のおすすめ本 ～1年7組、8組、9組担当～ *裏面に続く

『夏と花火と私の死体』

乙一:著 B913.67

集英社(集英社文庫)

<あらすじ>

主人公の五月(さつき)は友達の弥生(やよい)と同じく、弥生の兄である健(けん)のことを想っていたが、それを弥生に伝えようと殺された。弥生は健に相談し、死体を隠し切ることにする。様々な刺客が現れ、2人が隠す五月の死体が見つかりそうになるが…

<おすすめポイント>

この本は僕が今まで読んだことがない、イレギュラーな書き方だった。死体が語り手だった。初めて出会う語り方だが、表現が多彩すぎて情景、場面を容易に想像することが出来てしまう。1つの物語が短いので、すぐ読み終わられるのも魅力だと思います。

『か「」く「」し「」ご「」と「」』

住野よる:著 B913.67

新潮社(新潮文庫)

<あらすじ>

みんなには隠している、少しだけ特別な力を持った高校生5人。別に何の役にも立たないけれど、そのせいで、クラスメイトのあの子のことが気になって仕方ない。彼女がシャンプーを変えたのはなぜ?彼が持っていた“恋の鈴”は誰のもの?それぞれの「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想い。甘酸っぱくも爽やかな男女5人の日常を鮮やかに切り取った、共感必至の青春小説。

<おすすめポイント>

登場人物一人一人が持っている特殊な能力によって日々を過ごす物語で、ファンタジーな設定なのにも関わらず、リアルな日常が描かれていてすごいと思いました。同じ話でも違う人から見るとまた変わって見えるのかなということを考えさせられました。

☆進路関連図書のご紹介☆

各大学の入試過去問題集、
見られます。

◎最新年度版→進路指導室

[閲覧またはコピー可]

◎上記以前のもの→図書館

[1人3冊まで、
1週間貸出可]

*返却期限を守る方に限ります。延滞
があると次回より貸出できません。

図書館に

入れて欲しい本の

リクエスト受付中

新年度の図書購入は、5月下旬からの予定です。要望があれば配付版「ペえじ」掲載QRコード、または検索サイトの「メニュー」→「リクエスト」から送信してください。

[一次締切:2025年3月25日]

図書館の本を
検索してみよう

気になる大学名、職業名、
趣味のキーワードでもお試し検索♪

本derful!委員のおすすめ本 ～1年7組、8組、9組担当～

『ムゲンのi』上、下巻

知念実希人:著 913.6 冊

双葉社

<あらすじ>

眠りから醒めない原因不明の難病「特発性嗜眠症候群（イレス）」の患者を3人も診ることになった神経内科医、識名愛衣は霊能力者である祖母から受け継いだ力で患者の夢の世界へ飛び込み魂の救済（マブイグミ）に挑むのだが…

<おすすめポイント>

医療、ファンタジー、ミステリーが上手く組み合わせられ先が気になってずらずと読めてしまう小説です。夢の世界が細かく表現されているのでどんな世界かを想像しながら読んで欲しいです。

『容疑者Xの献身』

東野圭吾:著 B913.6 冊

文藝春秋(文春文庫)

<あらすじ>

ミステリー小説にしては珍しい、最初から犯人が分かっている、その犯人側の視点で話が進んでいく。この小説の主人公は犯人に恋した協力者で、死体の隠蔽や、アリバイ工作のトリックに意外性がある。

<おすすめポイント>

序盤に初見じゃ絶対に気づくことのできない伏線が張られていて、中盤で伏線の匂わせがあり、そこで気づける人は相当頭が回っていると思う。終盤にきちんと伏線の回収があり、序盤のページに戻って確認したぐらい自然な伏線が面白い。



草津東高校貸出ベスト

[貸出統計 2024.4.1～2025.1.31]

<小説部門>

第①位『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈:著 新潮社

第②位『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈:著 新潮社

第③位『変な家2 ～11の間取り図～』 雨穴:著 飛鳥新社

<マンガ部門>

第①位『ハイキュー!! 45』 古舘春一:著 集英社

第②位『僕のヒーローアカデミア 41』 堀越耕平:著 集英社

『キングダム 73』 原泰久:著 集英社

<ノンフィクション・実用書・参考書部門>

第①位『あなたは人にどう見られているか』 松本聡子:著 文藝春秋

第②位『16歳の教科書』

7人の特別講義プロジェクト&モーニング編集部:著 講談社

第③位『やっておきたい英語長文500』 杉山俊一:著 河合出版

『時代と流れて覚える!日本史B用語』 鈴木和裕:著 文英堂

本屋大賞2025ノミネート10作品 全て入りました!

『アルプス席の母』

早見和真:著 小学館

『カフネ』

阿部暁子:著 講談社

『禁忌の子』

山口未桜:著 東京創元社

『恋とか愛とかやさしさなら』

一穂ミチ:著 小学館

『小説』

野崎まど:著 講談社

『死んだ山田と教室』

金子玲介:著 講談社

『spring』

恩田陸:著 筑摩書房

『生殖記』

朝井リョウ:著 小学館

『成瀬は信じた道をいく』

宮島未奈:著 新潮社

『人魚が逃げた』

青山美智子:著 PHP研究所

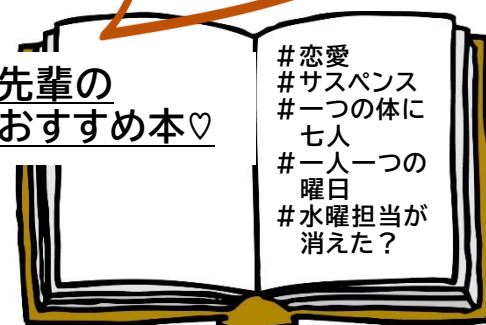
～3年生アンケートより～

Q 高校時代に

読んで良かった本は?

A 『水曜日が消えた』

先輩の
おすすめ本♡



本田杏成:著
/講談社(講談社タイガ)

救急医・武田の元に
搬送されてきた溺死体
は、自分と全く同じ顔
と体形だった。彼と自
分の関係はいったい何
なのか?

『禁忌の子』

最近の、くさひが図書館

図書委員会

カウンター当番日誌

より

- ・静かで落ち着いていて、ゆったりとした時間が流れていた。
- ・3年生は赤本など勉強に関する本の貸し出しが多かった。
- ・思っていたよりも色々なジャンルの本があったことが分かったのもまた借りようと思います。
- ・お昼の時間に図書室に来るのは初めてでしたが、とても落ち着く空間で、当番でない日でも来たいと思いました。

来館お待ちしております(^-^)

春休み中は休館がめ～

